

地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段のガイドライン策定等に係る検討会
報告書（骨子案）

— 目次（たたき台） —

はじめに

第 1 部 検討の概要

- 1 検討の背景・目的
- 2 検討項目
- 3 検討体制
- 4 検討会の開催状況

第 2 部 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段について

第 1 章 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の実証について

- 1 実証の概要
- 2 基本検証の結果について
- 3 モデル検証の結果について

第 2 章 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段のガイドラインについて

- 1 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の特徴
- 2 システムの詳細
- 3 システムの標準とすべき技術的要件について
 - （1）災害情報記述言語（EDXL）の標準定義フォーマット
 - （2）屋内受信機の標準仕様
- 4 導入に当たっての留意事項

第 3 章 今後の課題

第 3 部 住民への主たる災害情報伝達手段の備えるべき要件について（耐災害性の整理）

- 1 調査方法等
- 2 調査結果
- 3 論点整理
- 4 今後の課題

—各章の記載内容について—

第1部 検討の概要

- ・ 検討会の趣旨や体制等について記載

第2部 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段について

第1章 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の実証について

- 1 実証の概要
- 2 基本検証の結果について
- 3 モデル検証の結果について

資料3-2等、実証結果
を整理

第2章 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段のガイドラインについて

- 1 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の特徴
- 2 システムの詳細
 - ・ 入力システム、バックエンド、地上デジタル放送局内システム、屋外スピーカー、屋内受信機等について記載
- 3 システムの標準とすべき技術的要件について
 - (1) 災害情報記述言語 (EDXL) の標準定義フォーマット
 - (2) 屋内受信機の標準仕様
- 4 導入に当たっての留意事項

資料3-3等を踏まえ
整理

第3章 今後の課題

- ・ 地上デジタル放送波を活用した情報伝達手段を導入する際に参照すべき本検討会の成果について、市町村の防災担当職員、地上デジタル放送事業者及びベンダー等に広く周知することが求められる。
- ・ 今後導入が増える場合を想定し、1の放送事業者の放送圏内において複数の市町村が当該手段を導入する場合や、複数の放送事業者間の連携方策等について、引き続き検討が求められる。
- ・ 標準仕様を示した EDXL フォーマットの定義は、技術の進展等を踏まえた見直し等の適切な管理が必要と考えられる。EDXL の適切な運用管理について、地上デジタル放送事業者、ベンダー等とで構築していくことが求められる。

第3部 住民への主たる災害情報伝達手段の備えるべき要件について（耐災害性の整理）

1 調査方法

2 調査結果

3 論点整理

※本項目は、資料3－5の論点整理を踏まえて記載。

4 今後の課題

（概ねの次の内容を記載）

- ・今回得られた論点を踏まえて、市町村が災害情報伝達手段を整備する際には、耐災害性のみならず、情報伝達手段の特徴や留意点（メリットやデメリット）を考慮し、地域の特性に応じた最適な手段を選択しやすくなるよう、地域特性に応じて、最適な情報伝達手段や組み合わせの標準例について、具体的に整理することが求められる。検討に際しては、各市町村における情報伝達手段の整備理由や地域特性等を調査し、市町村の防災担当職員やベンダー等の実務者を交えて整理することが望ましい。